



はじめに（平成 16 年 12 月定例会）

自由民主党の藤井律子でございます。4 日間におわたる一般質問のアンカーとなりました。どうぞよろしくお願い致します。

今年は、夏の集中豪雨や、過去最多の台風の上陸、さらに、追い討ちをかけた新潟県中越地震と、相次ぐ災害により、全国で 250 人余りの方が大切な生命を亡くされました。

容赦ない自然の猛威を前に、何もできない人間の無力さと、一瞬のうちに、大事な家族や財産を失う災害の怖さを、全国民が身を持って知らされた年であったと思います。

被災地におかれましては、現在も尚、きびしい避難生活を余儀なくされておられ、心身ともに大変お疲れの事と思います。心よりお見舞いを申し上げます。

長い間住み慣れたふるさとで、家族揃って元の生活ができますよう、また、壊された生活基盤が回復できますよう、一日も早い復興を願っている所でございます。

しかしながら、その中で、奇跡的に助かった明るいニュースもありました。土砂崩れに車ごと巻き込まれながら、4 日もの間、たった一人で、何も食わず、真っ暗闇の中で生き抜いた皆川優太ちゃんが、勇気あるレスキュー隊の皆さんの活躍のおかげで、無事助け出されました。

その瞬間、日本中から大きな拍手が沸き起こり、人間の生命力の強さに驚かされながら、多くの方が感動の涙を流したと思います。

私は、昔、広島大学医学部附属病院の原爆医療研究所臨床外科病棟で看護師として働いておりました。

その科は、悪性腫瘍の外科的治療を専門とする所であり、患者さんが、最先端の医療を受けながら一生懸命病氣と闘われる姿と、その中で残念ながら生命を閉じていかれる人の姿を、沢山見て参りました。

仕事を離れた後、両親や夫を次々と病氣で亡くし、苦しい思いをしてまいりましたが、今日までの体験から、「生命」をライフワークとして、政治活動をしていきたいと考えております。

今回、この「生命（いのち）」をキーワードにして、さまざまな角度から、県の取り組みや対応・推進状況をお聞きしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。